



柏葉



学校だより 第26号
 令和4年10月28日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

後期学級委員

後期の学級委員を紹介します。クラス全員の協力で誰もが心の居場所になるクラスを作ってください。

	氏 名	
1年1組	清野 雄月さん	吉田 琉稀さん
1年2組	大沼 夢月さん	樋口 琴彩さん
2年1組	佐久間 杏奈さん	鈴木 友惟さん
2年2組	榊原 ことみさん	本田 翔太郎さん
3年1組	荒井 優紀さん	佐野 伶さん
3年2組	有賀 暖南さん	邊見 悠輝さん

県立・私立高校説明会



高校の校長先生に質問している場面

去る10月19日(水)、20日(木)に私立高校と県立高校の説明会を高校の先生方を招いて開きました。生徒は将来に向けて熱心に聞きました。自分の進路を決める上で、正しい情報の元で判断していきましょう。

福島民報新聞掲載 若い世代 (No. 4)



若い世代

敵味方関係なく
互いにたたえる

白河市・塚野 優汰
(中学生 14)

僕はサッカーが好きだ。見るのも好きだ。あんなにサッカーの試合をいつかのようにテレビで見たい。

後半が終わる頃だった。

た。点数的に不利なチームが、あせっていた。しかし、点差は広がり負けしてしまった。勝ったチームは喜んでいて、試合が終わってテレビを消そうとした時だった。負けたチームの選手はショックでしゃがみ込み泣いていた。勝ったチームの選手が負けたチームに近寄っていった。僕は何をやるんだろうと思ひ、そのままテレビ

をつけて見ていた。勝者は負けた選手にあく手を求めてこう言った。「がんばった」僕は、その時思った。サッカーは敵味方なく互いをたたえ合うのだと。僕も勝ったチームみたいに、味方のことだけを考へるのではなく、敵の思ひも考へて戦いたかった。

いろいろなことに
挑戦して好きに

白河市・鈴木 愛梨
(中学生 13)

私の将来の夢はまだ決ま

まっています。自分に合った職業につきたいと思っています。

私は、昔から好きなことが全くありませんでした。好きなことがないと

楽しくないし、何もまらなくならないと思ひました。つまらない人生はとも嫌なので、一つでもいいから好きなことを見つけてくれるように、いろいろなことに挑戦しました。

小学6年生の夏休みになわとびをやってみると、挑戦してみました。思っていたより、うまく跳べました。私はびく

りし、とてもうれしくなりました。それから違う技を試し、いろいろな技ができるようになりました。私は「やっ」と好きなことが見つかった。これを参考に、いろいろなことに挑戦してみよう」と思ひました。今中学2年生の私は、なわとび以外に好きなことがたくさん増えています。